



2月25日(日)、ジャパンアスリートレーニングセンター大隅(アストレ)において、3回目となる「2024 ジャパンアスリートゲームズインオオサキ」が、大崎町陸上競技の聖地創り実行委員会と(一財)鹿児島陸上競技協会の主催で開催されました。

60mや60mハードル、100mのトラック競技、走幅跳や棒高跳、円盤投、砲丸投、ハンマー投のフィールド競技が実施され、東京オリンピックや世界陸上競技選手権大会、世界パラ陸上競技選手権大会で活躍した選手や国内大学生の中で1位の選手など全国からトップクラスの選手が参加したほか、県内のジュニアアスリート(中高生)も参加し、今季のスタートを切りました。また、東京オリンピックホストタウンの縁で友好的な交流が続く台湾から3名の選手が初出場し、海外選手を交えた大会となりました。

2024年シーズン初の大会となる選手も多く、今年開催される「2024年パリオリンピック・パラリンピック」や「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」などそれぞれの目標に向かい、冬季練習の成果を確認した大会となったようです。また、女子100mでは熊本中央高等学校3年生の山形愛羽選手が予選で11秒77を記録し室内日本最高記録を更新したほか、7名が大会新記録を更新しました。

今大会は入場制限を設けず、約230名の一般観覧の方が会場に訪れ、選手のスピードや迫力を間近で感じている様子でした。



ジャパン アスリート ゲームズ イン オオサキ

# 2024 Japan Athlete Games in Osaki

アストレで室内日本最高記録更新！トップアスリートが順調にシーズンイン

